



会 議 録

八幡市教育委員会

開催日時	令和6年10月21日（月曜日） 午後2時15分～午後3時25分	
場 所	本庁舎5階 会議室5-2	
出席委員名	川 中 尚（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子
委員を除く出席者の職・氏名	部 長 辻 和 彦 次 長 渡 邊 晋 こども未来課長 高 橋 洋 貴 子育て支援課長 成 田 孝 一 子育て支援課総括園長 矢 田 真 弓 学校教育課長 家 村 聡 一 学校教育課主幹 田 原 麻 衣	文化財課長 田 制 亜紀子 教育支援センター所長 安 達 里 香 教育集会所館長 山 中 友 順 教育集会所主幹 梅 野 尚 史 図書館長 小 坂 富美子 生涯学習課長 辻 博 之 こども未来課 加 川 美 和

1. 開 会

2. 報 告 事 項

- (1) 令和5年度教育委員会関係予算の決算について (こども未来課) ※資料1
- (2) 八幡市地域クラブ活動について (学校教育課) ※資料2
- (3) 第八回徒然草エッセイ大賞について (生涯学習課) ※資料3

3. 議 題（協議事項）

- (1) 八幡市の教育行政について

4. その他

- ・ 園、学校訪問について

5. 配付資料

- ・ 9月分議事録（写し）

6. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：11月18日（月）午後3時から

場所：庁舎5階 会議室5-2

※学校訪問先

さくら小学校（10：00）

男山中学校（11：30）



	内 容
[教 育 長]	<p>1. 開 会 それでは、令和6年10月度の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>2. 報告事項をお願いします。(1)「令和5年度教育委員会関係予算の決算について」、八幡市教育委員会基本規則第9条第2項の規定により報告いたします。事務局より報告願います。こども未来課。</p>
[高 橋 課 長]	<p>2. 報 告 事 項 (1) 令和5年度教育委員会関係予算の決算について 令和5年度教育委員会関係予算の決算について報告申し上げます。お手元の資料1をご覧ください。</p> <p>この資料については、地方自治法第233条第5項の規定に基づき作成している「決算の概況と主要な施策の成果に関する報告書」のうち、教育委員会に關係する箇所を抜粋したものととなります。全部を説明しますと長くなりますので、主な内容について説明させていただくという形でご了承ください。</p> <p>最初に、民生費と上に書かれていると思います。後に教育費というのでも出てきますが、民生費の部分については、組織再編の關係で保育園・児童センター・子育て支援センター・放課後児童健全育成施設、そういったいわゆる福祉に関する予算について引き続き全国統一のルールで民生費という市全体の予算の中で、予算・決算について示す必要があるので教育費と分かれているところです。民生費のものについては、これまで福祉部が所管していたものだとご理解いただければと思います。</p> <p>まず、2ページの「子ども・子育て支援総合推進事業費」では、子ども・子育て会議を2回開催したほか、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、就学前及び小学生の保護者を対象としたニーズ調査を実施しました。3ページから5ページにかけては、民間保育園・こども園の運営に要した経費、6ページ及び7ページには公立保育園・こども園の運営に要した経費を記載しています。また、施設整備として、南ヶ丘保育園及びみその保育園のプール改修を実施したほか、令和6年4月からのやわたこども園の開園に向けた改修を実施しました。7ページ下段の「子育て支援センター運営費」では、子育て支援センター3施設の運営に要した経費を記載しているほか、八幡市子育て情報誌の発行を行いました。8ページの「京の木香る園づくり事業費」では、京都府補助金等を活用し、府内産木材を使用した幼児用ロッカー等の備品を公立園に整備しました。8ページ下段から9ページでは、児童センター及び放課後児童健全育成施設の運営に要した経費を記載しています。</p> <p>10ページから教育費になります。10ページの「教育委員会運営費」では、定例教育委員会を11回、臨時教育委員会を2回開催しました。続いて金額の大きい「事務局運営費」ですが、主には職員の人件費となっています。その他では、教育委員会の広報紙「くすのき」を2回発行したほか、教育情報ネットワーク改修として、システムの更新を実施しました。10ページ下段の「教育支援センター運営費」では、教育支援センターの運営に要した経費を記載しています。11ページの「GIGAスクール構想整備事業費」では、中学校区ごとにICT支援員を1名配置しているほか、GIGAスクール構想で整備した備品等の維持管理を行っています。続いて「特別支援教育支援事業費」では、特別支援教育支援員を小学校で14人、中学校で7人配置しました。続いて「学校改革推進事業費」では、子ども会議を9回開催し、市長に対し児童・生徒が提言を行いました。続いて「学力向上推進事業費」では、学習支援員やスクールソーシャルワーカーの配置、外国人児童生徒への支援のほか、令和5年度から京都府の補助金を活用した機動的児童生徒個別支援事業を実施しました。12ページの「八幡市・八幡浜市中学生交流事業費」では、令和5年度は八幡市の中学生が八幡浜市を訪れ、八幡浜市の中学生と様々な体験活動を通じた交流を行いました。続いて「スタディサポート事業費(鳩嶺教室)」では、民間事業者を活用した学習機会の提供を行い、小学生が66人、中学生が139人受講しました。続いて「地域部活動検討委員会費」では、休日の部活動の段階的な地域移行に向け、検討委員会を設置し会議を4回開催しました。</p>



13ページ及び14ページには、小学校の運営に要した経費を記載しています。令和5年度では、物価高騰対策として学校給食費に対する助成を実施しました。14ページから15ページにかけての「学校建設費」では、八幡小学校の給食室の改修工事、さくら小学校のトイレの大規模改造工事、中央小学校の屋内運動場の空調設備等整備工事、美濃山小学校の屋内運動場及び特別教室の空調設備整備工事、令和6年度に向けての内容になりますが八幡小学校及び有都小学校の屋内運動場の空調設備等整備工事の設計業務を実施しました。

15ページ及び16ページには、中学校の運営に要した経費を記載しています。中学校においても、小学校と同様、物価高騰対策としての学校給食費に対する助成を実施しました。17ページの「学校建設費」では、初めての試みとして、男山第二中学校の屋内運動場の長寿命化改良工事を行いました。

続いて「幼稚園管理運営費」では、公立幼稚園の運営に要した経費を記載しているほか、令和6年4月からのさくら幼稚園の開園に向けた改修を行いました。18ページの「京の木香る園づくり事業費」では、公立保育園・こども園と同様、京都府補助金を活用し、府内産木材を使用したスタッキングチェア等の備品を公立園に整備しました。

19ページの「青少年・女性活動費」では、青少年の健全育成等に取り組んでいただいている各種団体への助成のほか、青少年の主張大会や二十歳のつどいを開催しました。20ページの「やわた放課後学習クラブ運営費」では、放課後学習クラブに延5631人が参加しました。続いて「地域による寺子屋事業費（家庭学習応援）」では、さくら小学校及び中央小学校で実施した寺子屋事業に延1238人が参加しました。

22ページの「市内遺跡調査事業費」では、石清水八幡宮遺跡の範囲確認調査や史跡石清水八幡宮境内の範囲確認調査、西車塚古墳の範囲確認調査、橋本陣屋跡の試掘確認調査を実施しました。続いて「名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業費」では、名勝松花堂及び書院庭園の災害復旧工事を実施しました。

23ページから24ページにかけては図書館の運営に要した経費を記載しています。

足早でちょっと説明不足な点があるかもしれませんが、以上です。

ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。

まず、今までになかったこういう資料のご提示をいただいたこと、非常にありがたく思います。何があったのかなと思って、条例に従ってということでもありますので、そういうことかなと理解しております。

詳細を見る機会がなくて、今まで思っていることで申し上げますと、こういう資料を出されますと毎年やっておられる事務事業評価に十分活用されているのかどうか。費用対効果だけが教育ではありませんけれど、施策の重点、短期的・中期的・長期的な展望に立ってそういったものを踏まえて評価していただくことが、今までできていたと思いましたが出された以上そういうことも含めこれからの評価に活かしていただきたいと思います。

今日やわたこども園に行かせていただきましたが、就学前教育が非常に充実してきていることについては常々評価しているところですが、義務教育学校に比べてICT環境がちょっとどうかと。合理化できるのではないかなということも、今日の話に出ておりました。ぜひ小・中学校と同じような形のネット環境を進めていただくことをお願いしたいと思っております。

文化財保護の辺りのところは、八幡市でこれから観光事業等含めて進めていただく、教育だけとは関係ありませんが、非常に大きな視点であると思っております。また、非常に素晴らしい文化財をそういう形で発掘等含め充実させていただいている。活用の問題なんですけれど、例えばふるさと学習館の活用状況はどのようにされているのか。たくさん来ていただいているのであればそれでいいんですが、文化財はかなりお金を投入し整備もされているので、それに見合った子どもたちへの還元・教育は、八幡市民の郷土を愛する、歴史を知ると言うんでしょうか、こういうところと繋がっていくと思っておりますので、ぜひその辺りのところの費用と活用と教育に結び付けた展望も関係しているのかどうか分かりませんが、教えていただけたらと思います。

それから、割合とか存じ上げませんが国庫補助によるものもあるので、幼稚園関係で言う

[教育長]
[橋本委員]



[教育長]	<p>と統合関係もあるし、八幡小学校の整備計画と言うんでしょうか改築もあると思いますが、これは中長期展望の中に位置付けた予算というのはどのように現れてくるのか、どういうふうに反映されているのか、この辺りもお教えいただければと思います。</p>
[田制課長]	<p>費用対効果と就学前のICT環境についてはご提言という形で承りまして、文化財やふるさと学習館の活用状況、決算のところで出てきている国庫の今後の見通し、大まかな国庫の流れがもし分かれば教えていただけますか。</p>
[橋本委員]	<p>ふるさと学習館の活用についてお答えします。市内の小学3年生が郷土の歴史を学ぶという単元で八幡市内の小学校から社会科見学で受け入れており、お手元の資料にも社会科見学の小学生が439人と記載させていただいております。それ以外の一般来館者は延べ人数575人との差なのでそんなに多くはありませんが、八幡市内で実際発掘された遺物であったり八幡市内の農家で使われていたような民具など、八幡の歴史に特化したものを常設展示させていただいております。</p>
[田制課長]	<p>広報が足りておらず認知度がないんです。ふるさと学習資料館、こういう物がある、一般市民に対して知られていない。一度見学させていただきましたので、非常に色々な物がたくさん置いてあるのは存じ上げております。それからさらに色々な物を増やされて整備されていると思いますが、確かに子どもさんは社会科見学ですから小学3年生に限っては学習目的でご利用いただいている。毎年のことですから自然と繋がっていくというのは理解しましたが、図書館であれば生涯学習的に理解されて使われる、松花堂美術館も年代を超えて理解される、市民に広く開放されている。それに比べてふるさと学習館は認知度があるのか、どういうふうに広報されているのか、という辺りはどうなんでしょうか。対象が学校だけなんでしょうか。</p>
[橋本委員]	<p>基本的には学校の学習を補完するような意味合いでして、そもそも元々が文化財として掘りあがった土器や埴輪などの遺物を掘ったままにするのではなく、展示したら小学生の勉強になるのではないかということから始まったような館でございますので、広く観光や集客目的に開館しているようなものとは少し意味合いが異なります。</p> <p>ホームページでもふるさと学習館というのがありますよというページは開いていますが、何せ常設展示だけで季節展示や企画展とか、そういったことをしているような館ではございませんので、広報についても最低限のものとしています。</p>
[辻部長]	<p>歴史や考古学に興味を持たれている方に、なんでわざわざ八幡市にお越しになるんですかと尋ねると、この地域のそういうことについて調べたい・知りたいとおっしゃいます。研修を含め遠路はるばる団体でいらっしゃる方もありますので、ぜひ広い形で興味・関心のある方に周知できるよう、何か方法を考えていただきたいと思います。</p> <p>本当はもうちょっと分かりやすい場所にあればいいのかもしれませんが、ああいう場所です。しかし、車で来られるじゃないですか。だからそういう辺りも周知したら、私の感覚ですが利用される方が増えるんじゃないかと思います。既にホームページに上げていただいているようですが、せっかくお金もかけて整備されているので、ぜひ活用という面で一段と広報を。あまりお手数のかからない範囲で頑張ってくださいなと、これも要望でございます。</p>
[辻部長]	<p>例に挙げられました八幡小学校の改築について今後の財源の考え方・見通しですが、いつ頃というのはまだ正直なところ全く見えていない状況です。この庁舎を建てる時も耐震補強は難しいので改築しなければならないということで、財源の問題があつてなかなか進まなかったんですけど、熊本の方で地震があつて市役所が倒壊した事例が出たため急遽国が補助金を設定し、その補助金を活用してこの庁舎が建ちました。</p> <p>今現在、学校改築する国庫支出金がありますが、なかなかそれを活用しても全部補助金が充たるわけではなく、例えば総工費が10億円だったら10億円まるまる補助金の対象で、その内半分は国が出ましようとか、そういうのはないんです。その内の一部、例えばというのはちょっと申し上げられませんが、10億円の改築費用のうち建物を建てる分だけは純粋に見てそれ以外に備品を買ったりする費用については充たらないとか、そういうものでご</p>



[橋本委員]	<p>ざいますので、基本我々の仕事のひとつとして効率よく皆さんにいただいた税金を活用して市民や教育・福祉に還元するというのがありますので、我々は常にアンテナを張って国がどんな新たな事業を起こすか、その中に教育委員会で活用できるものはないか、いつも注視しているところです。ですから、八幡小学校でもし活用できる有利なものがあれば、すぐに協議して取り掛かれるものであれば取り掛かっていく、そんな姿勢でございます。</p> <p>私が一番申し上げたいのは、今おっしゃったように非常に多額の予算が必要であろう、この庁舎もおそらくそうでありましたね。どうせ建てるならただ建てた、建て替えだけではいけません。今度は認定こども園との総合化や図書館との関連もありますし、もっと別の観点での複合化というものもあるかもしれません。金額以外にそういうアイデアを周知・研究されていると思いますけれど、そういう時間も含め準備も必要でしょう。特に大きな新しいものを建てるならば、今までにないような準備を十分にさせていただいて、予算も充分に、然るべき日を迎えるために整え、考えていただきたい。既にそういうことはやっておられると思いますけれど、要望事項としてあえて申し上げたいと思います。</p>
[教育長]	他にご質問等はございませんか。
[狩野委員]	<p>こういうものを見せていただくのは今年度初めてで些細な質問ですが、4、5ページに民間認定こども園に八幡市以外、広域施設ということで鴻池学園第三幼稚園や春日丘幼稚園に行ってらっしゃる方がいるんだなと思ったんですが、延人数で書いていただいているので実質何人ぐらい行ってらっしゃるのでしょうか。あと、保育園は他市に行くことはできないですよ。（「はい」と言う者あり）</p> <p>ひょっとしたら春日丘幼稚園は延12人だから実質お一人なのかなと思うんですが、もし把握してらっしゃったら他の施設では何人ぐらい行ってらっしゃるのか、教えていただけたらありがたいと思います。</p>
[成田課長]	<p>広域施設の利用は、延人数を12で割っていただいた数が実人数になります。一昔前、ほんの5～6年程前はもう少し他市に通っているお子さんもいたんですが、今現在は一桁になっているような状況です。</p> <p>保育園は他市に行けないのかというご質問ですが、制度としてやれないことはございません。例えば八幡市であれば飛び地対策で淀のつぼみ保育園と協定を結んで、一定の園児数までは受け入れていただくような仕組みを作っております。数としてはそんなに多くありませんが、一応そういった形でニーズには対応しているところです。</p>
[教育長]	他にご質問等はございませんか。
[橋本委員]	もう1点だけ。文化財保護対策費の名勝松花堂及び書院庭園保存活用で、災害復旧工事ということで平成30年に地震があつてから随分経ちますが、まだ入れないんですか。契約が単年度契約になっているので復旧の部分が遅れていると聞いたりしますが、なぜ単年度契約になるのでしょうか。しかも、非常にそれで遅れている。小耳に挟んでいるだけです。本当かどうか知りませんが、契約内容がどうなっているのか教えてください。
[田制課長]	<p>契約内容については、ご指摘のとおり単年度契約でしております。補助金の都合上、単年度契約ですべきとなっております。長期契約には適さないものということで単年度契約にしております。ただ、工程については災害復旧工事が始まる時から長期にわたる工事と予定しており、文化財の保存・修理ですので工事をするにも名勝松花堂及び書院庭園の整備検討委員会という委員会を立ち上げ、その委員会を開き委員の先生にご助言をいただきながら、解体一つ取ってもそこからまた修理をして組み立てる段階であっても委員の先生の意見を伺いながら実施しておりますので、非常に長年にわたる工事になっております。ただし、そんなに予定より遅れているという訳ではなく、予定通り進んでいる状況です。</p>
[橋本委員]	災害復旧工事については、令和7年度末で終了する予定で今のところ進めております。何を申し上げたいかと言うと、業者が1年ごとに変わることで効率が悪く、それに伴う遅れが非常に大きいというのは事実なんでしょうか。
[田制課長]	災害復旧工事が始まった最初の年度からずっと一定して同じ業者（安井全工務店）です。業者の変更は今のところない状態で、順調に進んでいるものと考えております。



[教 育 長]	他にご質問等はありませんか。ないようでありますので、お諮りいたします。 ただ今の報告事項について、承認することにご異議ありませんか。
[全 委 員]	異議なし。
[教 育 長]	異議なしと認め、報告事項（１）「令和５年度教育委員会関係予算の決算について」、は承認されました。 次に、（２）「八幡市地域クラブ活動について」、事務局より報告願います。学校教育課。
[田 原 主 幹]	（２）八幡市地域クラブ活動について 部活動の地域移行について、八幡市版地域クラブ活動のイメージ図などを掲載した通信を作成し、今月１１日金曜日の夕方、市内の小中保護者の皆様ならびに教職員向けに発出いたしました。資料２をご覧ください。 CREATE(クリエイイト)というタイトルは、創造するという意味がございます。今年の目標である、“八幡市版地域クラブをつくろう”に向かって皆で創り出す、そういった意気込みや願いを含んでおります。八幡市では加速する少子化のスピードに対応するためにも、各校の部活動が活動できなくなる状況になってから取り組むのではなく、今から段階的に準備を進め、今の生徒にとっても将来の生徒にとってもメリットのある、持続可能な環境を整備しているところでございます。 そこで、「地域の子ども達は地域で育てる」という意識の下、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用した地域クラブ活動の構築を目指し、令和４年度地域部活動準備委員会、令和５年度地域部活動検討委員会、今年度より「八幡市地域クラブ活動推進協議会」を設置し、休日の中学校部活動の地域移行を段階的に進め、今秋からモデル事業を行います。部活動の地域移行とは、中学校の部活動を学校の教育活動から地域のスポーツ・文化団体等が行う活動に移行していくための環境と整備を進めるものでございます。国の方針としては、令和５年度から３年間で「休日の部活動の地域移行に向けた改革推進期間」としております。八幡市では少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保を目指し、八幡市版地域クラブ活動の構築を進めているところでございます。具体的にご説明いたします。 １をご覧ください。現在、八幡市部活動指導指針に基づいて学校部活動として行っている活動を、休日のみ地域クラブ活動へスタイルを変えていくことを図で示しております。 続いて２をご覧ください。単一の仕組みでは対応が困難なため、地域の指導者への委託のほか、単独型や拠点校方式を見据えた合同型、イベント型、教員の兼職兼業も含め様々な形を取り入れた「八幡市モデル」を実施することにより、令和８年度休日のみ全面実施に向けた試金石と考えております。 続きまして３をご覧ください。今年度（令和６年度）は、国から委託された府の実証事業に手を挙げ、市内４中学校で１部活動をモデル実証として今秋からスタートいたします。段階的に議論と周知を進めるべく、各中学校へ２回目の教員向け説明会や小中学校保護者向け説明会を実施し、トップダウンではなく学校との連携で、より良い形での模索を進めております。 このような移行を、教育委員会だけで進めることはできませんので、民間のノウハウを活用するべく、全国各地で実績のある事業者であるスポーツデータバンク株式会社の協力の下、八幡市スポーツ協会や八幡市文化協会、八幡市公園施設事業団、やわた市民文化事業団、PTA代表、学校代表の方々に委員を務めていただき、地域クラブ活動推進協議会にて、検討と実証を重ねております。段階的に取り組んでいく中で実際の状況を学校や家庭、地域の方々に見ていただき、ご理解いただくことが大切だと考えております。
[教 育 長]	ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はありませんか。
[狩 野 委 員]	例えば男山中学校で男子ソフトテニスをされますよね。男山中学校の子だけが対象なんですか、それとも他の学校の子もここに集合するんですか。拠点校を見据えた単独型モデルは他の学校の子も来て、単独型モデルはその学校だけというような理解でよろしいでしょうか。
[田 原 主 幹]	委員のおっしゃる通り、単独型モデルは各校の生徒が対象です。拠点校を見据えるという



	<p>ことで、本年度は単独型モデルのかけ出しでその学校の生徒が対象ですが、ゆくゆくは男山第二中学校のハンドボール部でしたら他の中学生がそこに来て地域クラブをやっていく、そういうイメージをしています。</p>
[狩野 委員]	<p>先ほど説明の中にありましたが、イベント型モデルだったり、そこに小学生も入れるというような、どんなイメージを持ったらよろしいのでしょうか。</p>
[田原 主幹]	<p>今年のモデル実証については、市内在住の小学6年生且つミニバスケットボールチームに所属する女子児童のみ対象で、男山東中学校で一緒に参加してやっていくことを考えており、それをイベント型と名付けております。</p>
[狩野 委員]	<p>6年生が男山東中学校に行きますよね。それは各自というか、保護者の責任においてそちらに移動するという形ですか。</p>
[田原 主幹]	<p>委員のおっしゃる通りです。小学生児童におきましては保護者の送迎を含め、安全面を考えた配慮が必要だと考えております。</p>
[教育長]	<p>他にご質問等はございませんか。</p>
[橋本 委員]	<p>ここまでの段階の経過のところ、各部署からの意見を集約されてこのようにまとめられたと思います。学習指導要領上の文言で、部活動というのは教育の一環として学校教育の中に位置づけるとありますので、そういうことを踏まえて現場の校長先生の意見はどのような状態になっているのかお教えてください。</p>
[田原 主幹]	<p>今週のモデル実証に至るまで各学校、学校長、管理職にご説明させていただき、それぞれ学校の実情もございます。部活動の実施種目決定に至るまでにも、すぐに「この部活で」とはなかなか言いにくい、難しい、決めにくいという現状もございました。学校長が教職員にこれらを説明するということでも、なかなか理解が難しいところもございます。理解と言いましても、教職員の中でも地域移行に「よし、やっていこう」と思う職員もいれば、地域というより自分の部活こそしっかり顧問の方で見ていきたいという意見もあり、学校長はその間を説明していくのは難しいという意見もございました。</p>
[橋本 委員]	<p>ですが、令和8年度に向けて八幡市版地域クラブをつくっていこうと舵を切りましたので、校長先生方もご理解いただいたうえで一歩進んでいるところです。ご意見たくさんございます。また周知等諮りながら努めてやっていきたいと思っております。</p>
[橋本 委員]	<p>そういう状況を我々は判断・決断しなければならない、非常に苦しい立場で今のようなことを求めています。やはりこういう状況の場合、どちらがいいか悪いかというようなことはなかなか判断できないと思います。やる中で成功事例として、もちろん逆の部分もあると思いますが、やってそれだけのものがある、教育の面もあれば働き方改革、全然違う次元のものも併存していますから、そういうことを併せ持って良い評価につながるように評価していただく。</p>
[教育長]	<p>今の世の中細かい情報も含めて粘り強く説明していただくことと合わせて、特に実施される方は大変だと思いますけれど、ぜひプラスの方向に向くようなそういう計画を十分立てていただいて実行・実践していただきたいと思います。</p>
[佐野 委員]	<p>他にご質問等はございませんか。</p>
[佐野 委員]	<p>もう来週から始まるということなんですけれど、さっき決算の報告のところ、1箇所だけ視察に行かれていますよね。どの場所に行かれたのか。どのようなところを真似られたのか。八幡市との相違点があれば教えてください。</p>
[渡邊 次長]	<p>視察に関しては私が行ってきましたので、私がお答えいたします。本年1月に私と森指導主事の二人で東京都日野市に視察に行っていました。実はイベント型モデルは日野市モデルを参考にさせていただきましたが、町の状況が八幡市とは全然違います。日野市は日野自動車を始め大きな企業がいくつかあり、企業がチームを持っています。そのチームの元選手が引退した後、指導者をされている現状がございました。その辺の人材確保という部分では大きな違いはありましたが、やっていくスタイルとしてイベント型は月1～2回実施で普段の部活動は維持したままというようなイメージでございましたので、本市でも採用できるかなと思って使わせていただいている状況です。日野市は年号が令和になる前後辺りから</p>



	<p>進めていて、やっと今半分くらいの部活動が移行に進んでいます。かなり時間がかかるということをごで勉強させていただきました。</p> <p>もう期限が少なくあと1年半しかない中で、何とか形にしていきたいという思いもあり、ちょっと強引にですが八幡市は進めているところです。実際にはなかなか調整が難しいのが今一番悩んでいることです。</p>
[佐野委員]	今お聞きしてやっぱり難しいなと思いました。イベント型ということは金銭が発生しているんですよ。
[渡邊次長]	イベント型に限らず全て金銭は発生しております。
[佐野委員]	今後、八幡市としても発生していくという予定ですか。日野市は発生してやっているんですよ。
[渡邊次長]	八幡市も指導者には謝金を払います。国の実証事業で賄いますので、今のところ生徒の負担はありません。
[佐野委員]	本当に難しいと思いますが八幡市モデルを構築されて、一日一日、来週ってもう近々になりましたけれど、受ける指導者が変わるのでそこがどうなっていくのか、これから見ていかなければならないというところでもあります。
[教育長]	あと、自転車で通わなければならないと前回の定例教育委員会でおっしゃっていたように、移動の点も踏まえて同時進行で地域移行していくのを考えていかなければならないと思いますし、ぜひ進めていただいて良い方向に行けばと思いますのでよろしくお願いします。
[教育長]	他にご質問等はございませんか。次に(3)「第八回徒然草エッセイ大賞について」、事務局より報告願います。生涯学習課。
[辻課長]	(3) 第八回徒然草エッセイ大賞について 第八回徒然草エッセイ大賞についてご報告いたします。おそれいりますが、資料3をご覧くださいたく存じます。
[教育長]	「はじまり」をテーマに本年6月3日から9月20日まで作品募集を行い、その総数が出ましたのでご報告いたします。応募総数は2446通で、内訳は一般の部1285通、中学生の部721通、小学生の部440通、昨年度より増加になっております。一次選考、二次選考、最終選考を経て、令和7年2月上旬には受賞作品が決定する予定です。
[教育長]	授賞式を、令和7年3月15日石清水八幡宮清峯殿にて開催する予定となっております。以上、報告いたします。
[教育長]	ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はございませんか。
[狩野委員]	質問ではなく感想です。微量ですが応募が増えたことは喜ばしいなと思いますし、毎年素晴らしい作品が沢山ございますので、今年も感動させていただけたらなと願っております。いろいろ選考上は大変だとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
[教育長]	他にご質問等はございませんか。
[橋本委員]	私も感想と要望的なものです。毎回申し上げていることですが、回を追うごとに認知度も全国あるいは海外まで広がりを見せていると思います。ただ、伸びは止まっている感じで、別に多ければいいという訳ではありませんが、遠方から八幡市に来られる方もご存知で、エッセイ大賞をやっている市だと言われる方もあり、知っておられる方は知っておられるんだなと感じているところです。
	小・中学校のご協力によってと言うんでしょうかこれを利用していただいて、エッセイを書く機会を増やすことが広がること、そして教育として浸透していくことがもっと大事なことではないかと思えます。いつも評価される先生方が日記をつけること、徒然草の最初のスタートのところにありますので、学校教育においても日記をつけることの意味とかけ方とか、あるいはそれを膨らませてたまにはエッセイに仕上げていく、そういう辺りをぜひ深めていただけると、回を重ねていますので優秀な作品はもちろん、この学校でこんな子が、あるいは八幡市でこんな子がこういう作品を書いているんだと冊子にまとめていただいているので、ああいうものが広く確実に周知されて自分たちも作品を応募する時にそれにする、日常の日記なんかもつけるようになるという辺りの非常に大事な学校教育への浸透



[教育長]	<p>と言うんでしょうか、せっかくこれだけの費用対効果ではありませんが大きな賞を取ってイベントとしてやっておられますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>他にご質問等がないようでありますので、これにて報告事項を終結いたします。</p> <p>次に3. 議題に入らせていただきます。(1)「八幡市の教育行政について」を議題といたします。</p> <p>3. 議 題 (協議事項)</p> <p>(1) 八幡市の教育行政について</p>
[教育長] [狩野委員]	<p>本日、案件はございませんが、委員の皆様から協議したいこと等ありますでしょうか。</p> <p>運動会シーズンですが今年度私はすごく忙しかつたので、なかなか園の運動会とか中学校の体育大会に行けていないんですが、こども園の運動会でとても工夫があったと人からお話を伺いました。これは各園がそれぞれ、それこそ園長先生のリーダーシップの下ですればいいことなんですけれども、今まで培ってきた幼稚園・こども園・保育園の運動会、それぞれ特色があるように聞いております。だから、日にちが違っていたらお互いに見て、質を高めるようなことを今後試みられることが、八幡市全体の質に繋がってくるんじゃないかなと思います。園の運動会は終わりましたが、これから発表会等もいろいろあると思いますし、それぞれが交流する場、学ぶ場のご提案を園長会等通してされていったらどうかなと思ひました。</p> <p>男山第二中学校の体育大会をちょっと参観させていただいて、昔の第二中学校の体育大会の様子は知っていますので、生徒が自分たちの体育大会という形でみんなで楽しもうという傾向に変わって、チームになって盛り上がっていていいなと思ひました。それと同時に中学生ですので、自分たちで何とか体育大会をやっているというふうな雰囲気です。それから、それこそ3年生を中心に中学生の主体性みたいなものが出ているんじゃないかなと思います。そこから小学生や園児を見ていると、なんか園でちょっと頑張りすぎじゃないかな、ちょっと高度なことをし過ぎてないかなというふうなことも若干思ひつたりします。子どもたちが主体的に運動を楽しむような会に、今後また色んな部分で検討していく必要があるのではないかなと。それこそ園の先生方も小・中学校の運動会・体育大会を参観することで、もう一度園の運動会を見直すことも大事な時になってきたかなと若干思ひつたりします。</p> <p>中学生が生き生きとやっている姿を見ますと、園はちょっとさせすぎじゃないかなと自分の反省も含め思ひつ次第です。また、今後いろいろ検討していただけたらありがたいかなということを感じと共におし上げます。</p>
[教育長]	<p>運動会なんですけれど、基本的にはそれぞれの園・学校が主体となって何をねらってくるのかということが一番大事かなと思ひつていますし、コロナが明けてからは各校がそれぞれ独自性を出しているかなと思ひつています。見せ方という言い方がいいかどうか分かりませんが、保護者の入れ方も含め各学校の規模や子どもたちの人数、地域の状態を考えながらかなり多様になってきていると思ひつています。</p> <p>それと同時にそれぞれ何を子どもたちにこの運動会でつけさせるのかということですが、これもまた各学校によって違いが出てきて、それが見えてくるのが面白いかなと思ひつています。今まで小学校は全校同じ日にやっていたのが違う日にやる学校も出てきましたけれど、なかなか他の学校を見に行くというのはちょっと学校現場の実態から言うと難しいところもあります。それぞれ情報交換しながら狩野委員がおしやつていただいたような形で、各学校・園の独自性を活かしながら、それぞれより良くしていくための視点を私たちもつけていかなければならない。その辺は校長会・園長会を通じてやっつけなければならぬと思ひつています。</p>
[佐野委員]	<p>他にご質問等はございませんか。</p> <p>男山東中学校の体育大会を4年ぶりくらいに見せていただきました。平日開催だったのでどうなんだろうと思ひつたんですが、保護者の多さにすごく驚きました。平日にも関わらずご両親共々、おじいちゃんおばあちゃん、沢山の方がスタンドにいらつやつて驚いたのが第一印象です。東中学校は吹奏楽の子がテントの横で演奏してくれるんですが、代表の子が</p>



行進してくる時に吹奏楽の子が演奏していたら、その保護者が代表の子たちにお尻を向けて我が子が演奏する姿を一所懸命に撮影されていて、ちょっと残念だなと思いました。保護者は我が子しか見ていないなと思いながら、体育大会がスタートしていきました。入場行進は全員ではなく代表の子が歩いて、あとの生徒は前にいるというような状態で単略化されていて見やすかったです。

4色に分かれていたので校長先生にどんな割り振りなのか尋ねたら、年度初めに3年生が「僕らはこんなことをやりたいんだ」と1・2年生にアピールし、それを見てどのクラスにするか個人がタブレットで投票するそうです。個人で投票するので、例えば1クラスに3年1組に投票した子が20人、3年3組に10人投票したとしたら、多く投票したところに行くそうです。そのクラスは全員が3年1組と縦割りで年度当初から体育大会に向けてグループで引っ付ける。1年も2年もそうやってグループを組んで、頑張るぞと最初から取り組みをちょっとずつ加えながら、2学期になったら今度は3年生がリーダーで1・2年生を引っ張ってチームの統制を取っていく形を作っていると伺って、生徒の意見をすごく聞いていて、参観していても子どもたちが自分の色をすごく執着して応援しているのが感じられました。例えば、放送の担当に来た子がたまたま赤チームの子で、マイクで「赤頑張れ」「赤頑張れ」しか言わない場面があり、それぐらい自分のチームカラーに思い入れがあり、そういう取り組みをされていてブロック構成しているのが今まで参観してきていなかったもので、面白いと思いました。

従来は縦割りで1組が何色と決まっていたのですが、体育館にみんなが集まって3年生の発表を見て投票していると聞いた時に面白い取り組みで、ただ運動するだけじゃなくてその中に団結や子どもたちの自発的なことに取り組まれているので、東中学校の体育大会は見てすごく楽しかったです。

教育長が先ほどおっしゃっていたように、他の中学校の様子を他の先生方が見られないというのが残念です。各校のカラーがあるでしょうけれど、子どもたちの力でできる体育大会は見て楽しかったですし、保護者の立ち振る舞いはちょっと残念でしたが、いい経験をさせていただきました。また、来年の体育大会が楽しみですし、25日にある小学校の運動会も何か違ったことが見つけれたらなと思っています。

他にご質問等はございませんか。

学校イベントというのは学校の特色化に非常に直結する。しかも、保護者に対して外に情報が直接開かれると言うんでしょうか、入り方も今おっしゃっているように我が子に集中してますけれども、その取り巻く環境についても注目されておりますので、もう今はコロナ禍ではありませんから、今まで縮小したものをもう一回広げていただく、伸び伸びとやっていただく。何が言いたいかと言いますと、一言で言えばちょっと学校縮んでいるんじゃないかなという気持ち、先生方もちょっと縮んでいるんじゃないかと。

部活動もみな外に出して行って、何かしら自分たちだけのものというのか、楽な学校づくり・学校環境、これは一方ではありがたいことなんですけれども、一方では楽な教育、そっちへどんどん流れていくような辺りも、心配しているところでもあります。

創意工夫を凝らしてもっと何かできないか。コロナ禍の後、前向きにそういう学校行事も積極的に進めていただく様をお願いしたいなと思います。

そこで、一つなんですけれども、先ほども話題になりましたが非常に迫っている大阪万博。これはなかなか一生に一度の体験しかできません。良い悪いはちょっと別にして、やはり見てみるということの価値は非常に多いように思います。各学校、大阪万博への参加状況はどうなっているのか、お教えいただきたいと思います。

今のところまだアンケートを取っている段階で、全ての学校から回答を集めきれっていません。教育委員会としては参加を推奨ということで校長には伝えていますが、事情によっては参加しない学校が1つ2つあるかもしれません。

参加するにしてもなかなか難しい課題がある。それは何かと言うと、向こうの予約が取れないんじゃないじゃなくて、バスの予約が取れない。これは修学旅行と同じ傾向が出ているようで

[教育長]

[橋本委員]

[渡邊次長]

[橋本委員]



	<p>りまして、大阪万博の参加を推奨されるという方向であれば、気持ちよく全校が行けるように、先に決められた学校の情報を的確にお伝えいただいて、こういうやり方があるよ、こういう時期にやらないと上手くいかないよという辺りのことも踏まえて、学校支援をしていただけならありがたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
[教育長] [狩野委員]	<p>他にご質問等はございませんか。</p> <p>昨日ちょっと調べものもあって市民図書館に行ってきたんですけども、検索した本がなかなか見つからなかったんです。貸出カウンターにカードを持って行ったら図書館の方が優しく、丁寧に見つけてくださって非常に助かりました。いつ行っても図書館の方は穏やかに対応してくださるなということで、館長さんがいらっしゃいますのでお礼を申し上げたいのと、それから、今ポップフェスで中学校が増えていました。二中と三中と東中のすごい作品がいっぱいあるので、本当に読書活動を推進していくうえでこれも大事な取り組みだなと思いましたので、ぜひ聞いていただけたらと思い発言しました。</p>
[教育長]	<p>他にご質問等はございませんか。</p> <p>次に、4. その他に入らせていただきます。本日は、やわたこども園と南山小学校の訪問でしたが、「園・学校訪問について」のご意見はございますか。</p>
[狩野委員]	<p>4. その他</p> <p>今年からこども園になって、八幡幼稚園の子どもがこども園に移行して、その時の戸惑い度みたいなのを園長先生に伺いました。最初は色んな姿があったそうですが、今は集団の中にしっかり入って遊んでいる、仲間の一人になっているということで、園のご努力だなと思います。園の環境の工夫とか人数が多いので活気がすごくあるなと思いましたけれど、保育室がやっぱり狭いなととても思います。本当に早期に、今全体の園児数も多いですし、修理を繰り返しているということですので、それこそ早期に整備、小学校と接続ができる関係で園舎全体の見直しをお願いしたいなということが1点です。</p>
	<p>もう1点がやっぱりICTです。園長先生も配信することの難しさをおっしゃっておられますので、こちらの整備もお願いしたいというのが2点目です。</p> <p>3点目がこの間、やわたこども園の京都府における研修の参加がないという現状です。これは園の意思になっているかと思いますが、保育園の方も参加がございません。幼稚園2つと有都こども園は参加されていますけれど、これから幼小接続とか質の向上を目指して、12月、1月、2月と色んな研修会がございますので、積極的に参加していただけるように子育て支援課からもお願いできたらなと思います。</p>
[教育長] [橋本委員]	<p>他にご意見・ご質問等はございませんか。</p> <p>やわたこども園について意見があったので、南山小学校について一言だけ。私が今注目しておりますのは専科教員の活用がどうなのか。あるいは交換授業が上手く学校の負担軽減に繋がっているのかどうか。結論から言いますと上手く使っておられます。特に理科・体育・英語、あるいは音楽・書写・家庭辺りでは実習教科が非常に効果があるということを知っています。ぜひ負担軽減に繋がるのであれば、中学校接続の面でも教科担任制は進めていただいていると思いますが、より充実させていただければなと思います。</p>
[教育長]	<p>他にご意見・ご質問等はございませんか。</p> <p>次に、5. 配付資料について、事務局より説明願ひます。こども未来課。</p>
[高橋課長]	<p>5. 配付資料</p> <p>お手元に9月の議事録の写しをお配りしております。</p>
[教育長]	<p>次回定例教育委員会日程につきまして、事務局から説明願ひます。こども未来課。</p>
[高橋課長]	<p>次回の教育委員会は11月18日月曜日、午後3時から庁舎5階の会議室5-2で行います。学校訪問につきましては、10時にさくら小学校、11時30分に男山中学校です。</p>
[教育長]	<p>6. 閉会</p> <p>以上をもちまして10月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。</p>

目	主要な施策		決算額	財 源 内 訳			施 策 の 内 容	
				特 定 財 源				一 般 財 源
				国府支出金	地 方 債	そ の 他		
			円	円	円	円		

(款) 3 民 生 費

(項) 2 児 童 福 祉 費

1 児 童 福 祉 総 務 費	施 設 等 利 用 給 付	3,584,065	(国) 1,688,757 (府) 844,378			1,050,930	預かり保育事業利用給付 (私立) 146,050円 一時預かり事業利用給付 49,250円 子育て援助活動支援事業利用給付 30,250円 認可外保育施設利用給付 3,358,515円
--------------------	------------------	-----------	------------------------------------	--	--	-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

児童福祉 一般事務 (子育て支援課)	33,056,603	(国) 605,000 (府) 54,000			32,397,603	公私立保育所等職員検便委託 2,811,930円 職員数 延 6,105人分 子育て支援事業費助成 1,620,000円 対象 地域子育て支援施設 おひさまテラス
児童福祉 一般事務 (こども未来課)	140,929				140,929	営繕積算システム借上 76,340円
子ども・子育て 支援総合推進	180,024				180,024	子ども・子育て会議 委員 20人 開催 2回

2 児童入所費	民間保育所 運 営	748,584,640	(国) 363,793,209 (府) 152,435,695		(負担金) 58,267,180	174,088,556	八幡保育園 100,709,200円 延 792人 西遊寺保育園 93,550,940円 延 667人 男山保育園 202,683,040円 延 2,306人 ぶどうの木保育園 184,776,930円 延 1,863人 くすのき保育園 145,072,220円 延 1,473人 計5園 延 7,101人 構成 3歳未満児 延 3,041人 3歳児 延 1,374人 4歳以上児 延 2,686人 広域入所実施委託 21,792,310円 つぼみ保育園(京都市) 延 167人
	民間保育所 振 興	132,586,362	(国) 12,495,000 (府) 5,651,460			114,439,902	運営費助成 42,797,890円 0歳児、2～5歳児 当該年度保育単価×0.04 17,257,218円 延 5,961人 1歳児 当該年度保育単価×0.29 25,540,672円 (当該年度10月以降は×0.14) 延 1,140人 職員給与改善費助成 12,219,000円 児童各種検診費助成 4,043,325円 家庭支援推進保育事業費助成 2,632,558円 一時預かり事業費助成 3,051,000円 障がい児保育事業費助成 49,104,736円 延長保育事業費助成 7,771,484円 5歳児遠足事業費助成 129,896円 日本スポーツ振興センター負担費助成 83,920円 実費徴収減免事業費助成 119,413円 施設整備資金借入金利子補給助成 886,920円 病児保育事業費(体調不良児対応型)助成 4,496,000円 地域共生社会実現サポート事業費助成 1,035,625円 副食費減免事業費助成 1,188,000円

目	主要な施策	決算額	財源内訳			一般財源	施策の内容
			特定財源				
			国府支出金	地方債	その他		
2 児童入所費 (つづき)	民間保育所興 (つづき)	円	円	円	円	円	子育て世帯サポート推進事業費助成 293,100円 紙おむつ廃棄実施 広域入所実施委託 2,733,495円 つぼみ保育園(京都市)
	民間認定 こども 園 運 営	651,067,713	(国) 314,592,608 (府) 159,534,196			176,940,909	山鳩こども園 205,847,830円 延 2,339人 認定区分別児童数 教育標準時間認定(1号) 延 241人 保育認定(2号・3号) 延 2,098人 山鳩第二こども園 159,967,170円 延 1,596人 認定区分別児童数 教育標準時間認定(1号) 延 202人 保育認定(2号・3号) 延 1,394人 認定こども園 歩学園幼稚園 105,503,572円 延 1,474人 認定区分別児童数 教育標準時間認定(1号) 延 320人 保育認定(2号・3号) 延 1,154人 認定こども園 早苗幼稚園 163,342,785円 延 2,298人 認定区分別児童数 教育標準時間認定(1号) 延 517人 保育認定(2号・3号) 延 1,781人 計4園 延 7,707人 構成 3歳未満児 延 2,363人 3歳児 延 1,705人 4歳以上児 延 3,639人 [広域施設] 鴻池学園第三幼稚園(枚方市) 15,775,386円 延 291人 認定区分別児童数 教育標準時間認定(1号) 延 183人 保育認定(2号・3号) 延 108人

						春日丘幼稚園(枚方市) 630,970円 延 12人 認定区分別児童数 保育認定(2号・3号) 延 12人
民間認定園興 こども 振	103,774,494	(国) 12,270,000 (府) 11,348,665			80,155,829	運営費助成 32,377,442円 0歳児、2～5歳児 当該年度保育単価×0.04 12,089,539円 延 5,458人 1歳児 当該年度保育単価×0.29 20,287,903円 (当該年度10月以降は×0.14) 延 969人 児童各種検診費助成 4,735,193円 一時預かり事業費助成 11,304,000円 障がい児保育事業費助成 19,009,600円 延長保育事業費助成 5,624,000円 日本スポーツ振興センター負担費助成 74,030円 預かり保育事業費助成 5,498,540円 職員給与改善費助成 10,096,521円 実費徴収減免事業費助成 93,170円 病児保育事業費(体調不良児対応型)助成 10,746,524円 5歳児遠足事業費助成 96,104円 施設整備資金借入金利子補給助成 93,330円 地域共生社会実現サポート事業費助成 1,233,750円 副食費減免事業費助成 1,846,850円 保育環境改善等事業費助成(新型コロナウイルス感染症対策支援事業) 100,000円 子育て世帯サポート推進事業費助成 250,440円 紙おむつ廃棄実施 送迎用バス安全装置設置助成 595,000円
病児保育	7,571,169	(国) 2,517,000 (府) 2,517,000			2,537,169	病児保育事業費助成 7,499,000円 社会医療法人美杉会 男山病院 延 218人 病児保育利用料助成 延 30人 54,000円

目	主要な施策	決算額	財源内訳			一般財源	施策の内容
			特定財源				
			国府支出金	地方債	その他		
4 児童福祉施設費	公立保育所運営	円 748,647,609	円 (国) 10,591,000 (府) 16,950,900	円	円 (負担金) 399,200 (使用料) 33,871,950 (寄附金) 100,000 (繰入金) 3,125,000 (諸収入) 10,656,480	円 672,953,079	共通経費（１、２） 256,610,131円 園別経費の内訳 南ヶ丘保育園 95,895,751円 延 673人 南ヶ丘第二保育園 91,820,529円 延 732人 みその保育園 138,092,989円 延 1,617人 わかたけ保育園 153,052,739円 延 1,721人 計４園 延 4,743人 構成 3歳未満児 延 2,018人 3歳児 延 913人 4歳以上児 延 1,812人 特別保育事業 延長保育事業 延 629人 みその、わかたけ保育園 産休明け保育事業 延 10人 南ヶ丘、南ヶ丘第二、みその保育園 障がい児保育事業 延 574人 南ヶ丘、南ヶ丘第二、みその、わかたけ保育園 若手保育士巡回相談支援 71回実施 紙おむつ廃棄実施 [主な経費内訳] 園児情報システム運用 805,200円 給食備品購入 805,200円 検体用冷凍庫（有都）、献立作成ソフトウェア等 管理備品購入 757,170円 テーブル（南ヶ丘）、掃除機（わかたけ）等 教材・遊具備品購入 631,750円 電子キーボード（わかたけ）等 公立保育所環境整備等 プール改修（南ヶ丘・みその） 9,376,400円

						オートロック更新（わかたけ）等 408,100円 保育室床改修、オートロック整備、園名看板 設置等（みその） 3,390,970円 外壁等塗装（みその） 1,496,000円
公立認定 こども園 運営	93,244,635	(国) 1,241,000 (府) 2,500,000		(負担金) 16,965 (使用料) 5,082,600 (諸収入) 3,048,100	81,355,970	有都こども園 93,244,635円 延 1,070人 認定区分別児童数 教育標準時間認定(1号) 延 38人 保育認定(2号・3号) 延 1,032人 構成 3歳未満児 延 354人 3歳児 延 212人 4歳以上児 延 504人 特別保育事業 障がい児保育事業 延 48人 紙おむつ廃棄実施
子育て支援 センター 運営	72,800,463	(国) 11,863,000 (府) 10,687,000			50,250,463	共通経費 21,330,824円 施設別経費の内訳 子ども・子育て支援センター(欽明台) 利用者数 延 12,997人 32,255,090円 子育て支援センター(指月児童センター内) 利用者数 延 10,069人 13,080,029円 第二子育て支援センター(南ヶ丘第二保育園内) 利用者数 延 2,048人 6,134,520円 育児不安についての相談・支援 電話相談 欽明台 延 3件 来所・出張相談 欽明台 延 175件 指月 延 96件 南ヶ丘第二 延 20件 みんなの広場参加 指月 延 226人 赤ちゃん広場 指月 延 192人 おしゃべりサロン 欽明台 延 212人 指月 延 115人 南ヶ丘第二 延 44人 お話の出前 指月 延 18人 子育て講座 欽明台 延 1,590人 指月 延 174人 さくら公園子育て支援イベント開催 令和5年10月21日 参加者 約500人 広報活動 「八幡市子育て情報誌」発行 1回

目	主要な施策	決算額	財源内訳			一般財源	施策の内容
			特定財源				
			国府支出金	地方債	その他		
4 児童福祉施設費 (つづき)	ファミリーサポートセンター運営	円 4,048,151	円 (国) 1,349,000 (府) 1,349,000	円	円	円 1,350,151	有償ボランティアによる育児の援助 ファミリーサポートセンター 開設場所 指月児童センター内 保育園、幼稚園など保育施設の開始時間まで及び終了後の預かり 193件 保育園、幼稚園など保育施設までの送迎 222件 放課後児童クラブの送迎及び開設時間前後の預かり 443件 小学校、支援学校などの開始時間まで及び終了後の預かり 112件 保護者外出時の預かり 141件 その他 306件
	みどりの園庭づくり	843,521	(国) 88,000			755,521	みその保育園乳児用園庭芝生整備 130㎡ 172,700円 管理備品購入 490,215円 ロボット芝刈機 1台等
	京の木香る園づくり	6,713,960	(府) 3,113,960		(繰入金) 3,600,000		府内産木材を使用した園備品等整備 公立保育園・こども園全園 幼児用ロッカー等購入
	児童館運営	54,485,944	(府) 691,000		(諸収入) 112,380	53,682,564	共通経費 18,037,745円 施設別経費の内訳 八幡こどもセンター 3,597,355円 利用人員 延 1,801人 南ヶ丘児童センター 20,781,826円 利用人員 延 7,546人 竹園児童センター 3,683,319円 利用人員 延 4,425人 指月児童センター 4,709,434円 利用人員 延 5,779人 橋本児童センター 3,676,265円 利用人員 延 3,239人

						(有都交流センター児童ルーム) 利用人員 延 2,003人 計6施設 延 24,793人 地域交流支援事業 南ヶ丘児童センター 8講座 延 42回 参加者 延 835人
放課後児童 健全育成	190,881,963	(国) 35,747,000 (府) 33,715,000	4,000,000	(使用料) 49,638,230 (諸収入) 528,000	67,253,733	共通経費 78,187,392円 施設別経費の内訳 八幡小学校 14,172,520円 児童数 延 1,045人 中央小学校 6,830,857円 児童数 延 497人 南山小学校 7,458,464円 児童数 延 534人 有都小学校 6,749,291円 児童数 延 460人 美濃山小学校 11,326,684円 児童数 延 1,093人 男山児童センター 14,313,940円 児童数 延 1,337人 竹園児童センター 13,572,805円 児童数 延 1,308人 橋本児童センター 18,856,373円 児童数 延 1,809人 子ども・子育て支援センター 12,856,317円 児童数 延 936人 計9施設 延 9,019人 [主な経費内訳] 事業用備品購入 146,850円 冷蔵庫(男山)他 放課後児童健全育成施設環境整備 2,093,520円 空調設備更新(八幡) 583,000円 カーテン設置(八幡) 124,520円 汚水槽新設(中央) 1,386,000円 放課後児童健全育成施設環境整備(4年度繰越) 4,463,800円 空調設備更新(美濃山)

(款) 10 教 育 費

(項) 1 教育総務費

1 教 育 費 教 員 会 費	教育委員会 運 営	3,410,320				3,410,320	教育委員 4人 定例会 開催 11回 臨時会 開催 2回 学校等訪問 10回 12校9園
2 事務局費	事務局運営	473,191,326			(繰入金) 249,700,000	223,491,326	教育委員会広報紙「くすのき」発行 年2回 各6,500部 「八幡市の教育」発行(市ホームページ掲載) 教育委員会事務事業評価委員会 開催2回 教育情報ネットワーク改修業務委託 249,700,000円 教育情報ネットワーク整備及び機器更新 パソコンリース 10台 260,880円 奨学金事務費 14,550円 貸付金徴収事務 対象件数 4件
	教育支援 委員 会	359,318	(府) 77,000			282,318	教育支援委員 63人 心身に障がいのある児童・生徒及び就学前の 幼児の就学相談、特別支援教育に対する啓発 就学相談 89件 「夏の地域学校」開催 令和5年7月27日 参加者 285人 講演会「特別支援教育をともに考える集い」 令和5年11月25日 参加者 45人 就学相談発達検査業務委託 115,000円
	教育支援 センター運営	52,467,390				52,467,390	教育相談の実施 カウンセラーによる教育相談 週5日 面接相談 1,085回 電話相談 533回 訪宅相談 9回 不登校児童生徒の学校復帰等のための支援 不登校児童生徒の状況把握 学校からの報告 月1回 教育支援教室「さつき」での支援 通室児童・生徒数 35人(小学生10人・中学生25人) 開室日 週5日(月曜日～金曜日) 支援内容 学習支援 教科学習・スポーツ活動等 体験活動 野外活動(2回)・園芸等 ソーシャルスキルトレーニング スーパーバイザーによる指導助言 週1回 所報の発行 85部 パソコンリース 30台 818,220円

目	主要な施策	決算額	財源内訳			施策の内容	
			特定財源				一般財源
			国府支出金	地方債	その他		
2 事務局費 (つづき)	研修費	円 998,422	円	円	円	円 998,422	幼稚園・小学校・中学校教職員等の研修 管理職研修 1回 参加者 1人 教職員研修 20回 参加者 延 723人 視察研修 1回 参加者 2人
	G I G A スクール 構想整備	40,113,443				40,113,443	I C T支援員配置業務委託 31,680,000円 I C T支援員 4人 G I G Aスクール構想整備事業保守業務委託 4,659,600円 カラーレーザープリンタ購入 12台 3,437,280円
	特別支援教育 支援	13,537,010	(府) 8,242,000			5,295,010	児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援などを行う「特別支援教育支援員」を配置 小学校 14人 中学校 7人 特別支援教育ソフトウェア借上 1,466,080円
	学校改革推進	2,902,775				2,902,775	学校改革プランに基づく学校教育の取組 子ども会議 委員 28人 開催 9回 小中一貫教育推進 八幡市一貫教育推進協議会 コーディネーター会議 開催 2回 先進地視察 1回 5人 小中一貫教育コーディネーター代替講師 4人派遣
	学力向上推進	33,188,913	(府) 16,706,000			16,482,913	学力向上推進経費 学習支援員 54人 スクールソーシャルワーカー 2人 機動的児童生徒個別支援事業 非常勤講師 3人派遣 英語検定受検料負担 対象者 中学生 1,078人 外国人児童生徒支援 日本語支援員派遣 201回 母語通訳者派遣 2回

八幡市・八幡浜市中学生交流	1,039,185			(繰入金) 1,039,000	185	二宮忠八翁の縁でつながる愛媛県八幡浜市と八幡市の中学生の体験活動を通じた交流 令和5年8月16日～18日 参加者 市内中学生 20人 場 所 八幡浜市
いじめ防止対策委員会	27,228				27,228	小学校及び中学校におけるいじめ等の問題行動の未然防止、早期発見及び対処等に必要な事項の調査及び審議 八幡市いじめ防止対策委員会 委員 8人 開催 1回
スタディサポート (鳩嶺教室)	54,506,656	(国) 13,863,000 (府) 12,795,000		(繰入金) 18,860,000	8,988,656	学習意欲は高いが、経済的理由により塾等の学習機会が少ない小学校4～6年生及び中学生を対象に、民間事業者を活用した学習機会を提供 小学生：受講者数 66人 定期指導 週2回実施 学力テスト 2回 中学生：受講者数 139人 定期講座 週2回実施 春季・夏季・冬季講座開催 学力テスト 1、2年生 3回 3年生 4回
人権教育総合推進地域	534,615	(府) 534,615				多様性を認め合い、共に高め合う子どもを育てる学校・家庭・地域づくりを目指し、外国人児童生徒の人権に焦点を当てた各種取組を実施 研究のまとめ作成 研究会開催 令和6年1月18日 参加者 143人
地域部活動検討委員会	1,231,662	(府) 783,000			448,662	休日の部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ・文化環境の一体的な整備に向け、地域部活動検討委員会を設置 部活動指導員 6人 地域部活動検討委員会 委員 11人 開催 4回 先進地視察 1回

(款) 10 教 育 費

(項) 2 小 学 校 費

目	主要な施策	決 算 額	財 源 内 訳			施 策 の 内 容	
			特 定 財 源				一 般 財 源
			国府支出金	地 方 債	そ の 他		
1 学校管理費	小 学 校 管 理 運 営	円 513,233,128	円 (国) 13,572,885 (府) 7,267,304	円	円 (負担金) 1,071,540 (繰入金) 1,695,000	円 489,626,399	<p>[学校別内訳]</p> <p>八幡小学校 15学級 393人 28,782,882円 くすのき小学校 24学級 494人 48,427,206円 さくら小学校 16学級 362人 32,338,750円 橋本小学校 22学級 566人 39,283,561円 有都小学校 8学級 118人 40,475,161円 中央小学校 14学級 267人 58,447,105円 南山小学校 14学級 243人 31,512,961円 美濃山小学校 27学級 683人 42,682,994円 共通経費 191,282,508円 計 140学級 3,126人 (学級数・児童数は令和5年5月1日現在の数値)</p> <p>[主な経費内訳]</p> <p>児童・教職員健康診断等委託 4,311,857円 受診者 児童 延 7,301人、教職員 延 2,480人 八幡長町地区等学齢児童教育事務委託 京都市に委託 30人 1,124,490円 施設設備等維持管理、管轄委託等 31,200,507円 施設等修繕、補修材料購入等 12,031,910円 学校給食調理員検便委託 694,360円 給食生ごみ処理委託 3,902,567円 八幡給食室改修に伴う給食配送委託 4,345,000円 スクールセット更新 1,875,390円 教師用教科書等更新 20,237,478円 学校図書館システム更新及び運用 2,946,500円 給食備品購入 食器消毒保管庫・コンビオーブン (南山小) 9,306,000円 立体炊飯器 (美濃山小) 644,600円 給食室冷凍庫 (橋本小) 687,500円 管理備品購入 学校図書館システム用パソコン(全校) 4,571,087円 AED (南山小) 264,000円 パソコンリース 394台 11,512,680円 学校給食費物価高騰緊急対策助成 17,301,000円 むし歯予防対策事業 938,505円 フッ素による子どもむし歯予防 2,312人</p>

2 教育振興費	小 学 校 校 教 育 振 興	132,320,981	(国) 2,228,909 (府) 4,163,000		(繰入金) 3,378,094	122,550,978	<p>[学校別内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> 八幡小学校 12,082,428円 くすのき小学校 19,505,603円 さくら小学校 11,853,435円 橋本小学校 12,658,969円 有都小学校 4,201,936円 中央小学校 11,672,103円 南山小学校 8,082,168円 美濃山小学校 11,233,220円 共通経費 41,031,119円 <p>[主な経費内訳]</p> <p>各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 要保護及び要保護児童就学援助 844人 特別支援教育就学奨励 73人 教材備品等購入 14品目 21数 学校図書館図書購入 2,098冊 マイカークラブ文庫図書購入 1,623冊 ふるさと応援寄附金による図書購入 418冊 社会人による学習支援 295回 学校安全対策(1年生、4年生対象) 児童危機管理プログラム研修 51回 <p>共通経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学援助新入学学用品費 5,676,300円 入学前支給 105人 社会科副読本「わたしたちの八幡市」作成 700冊 よりよい学校生活と友達づくりのアンケート 「Hyper-Q」実施 対象 5・6年生 1,121人 農業体験バス借上 4台 パソコンリース 328台 14,422,200円 水泳指導民間委託(くすのき小) 4,303,890円 水泳指導送迎バス借上 1,940,400円 理科教育等設備整備 1,894,300円 教材備品購入 23品目 71数 eスクール構想 2,283,640円 教材購入 CRT 3,086人分 英語活動推進(3年生～6年生対象) 2,992,000円 講師派遣 延 272回 1,088時間 小学校体育連盟事業助成 1,502,248円 楽しい学校づくり支援 1,359,393円 「夢の教室」実施(5年生対象) 2,120,360円 委託先 日本サッカー協会 対面によるゲームとトーク実施 15回
3 学校建設費	八 幡 小 学 校 校 整 備	167,890,482		116,400,000	(繰入金) 38,891,000	12,599,482	<ul style="list-style-type: none"> 八幡小学校給食室改修 120,007,800円 八幡小学校給食室改修工事監理業務委託 8,879,200円 給食室厨房備品等購入 37,713,067円

目	主要な施策	決算額	財源内訳			一般財源	施策の内容
			特定財源				
			国府支出金	地方債	その他		
3 学校建設費 (つづき)	さくら小学校 整備	円 153,278,400	円	円 148,800,000	円 (繰入金) 4,466,000	円 12,400	さくら小学校トイレ大規模改造 147,876,300円 さくら小学校トイレ大規模改造工事監理業務委託 5,390,000円
	小学校 屋内運動場 空調設備等整備	76,508,300		75,900,000		608,300	中央小学校屋内運動場空調設備等整備 66,624,800円 中央小学校屋内運動場空調設備等整備工事監理 業務委託 2,458,500円 八幡小学校及び有都小学校屋内運動場空調設備 等整備工事設計業務委託 6,985,000円
	小学校 屋内運動場 空調設備等整備 (4年度繰越)	116,218,300		116,200,000	(繰越金) 18,300		美濃山小学校屋内運動場空調設備等整備 113,381,400円 美濃山小学校屋内運動場空調設備等整備工事監 理業務委託 2,836,900円
	美濃山小学校 整備 (4年度繰越)	51,185,000	(国) 12,434,000	26,800,000	(繰越金) 11,951,000		美濃山小学校特別教室等空調設備整備 49,606,300円 美濃山小学校特別教室等空調設備整備工事監理 業務委託 1,578,700円

(款) 10 教 育 費

(項) 3 中 学 校 費

1 学校管理費	中 学 校 管 理 運 営	162,131,147	(国) 8,588,120 (府) 2,941,761	9,500,000	(負担金) 550,100 (繰入金) 4,099,000	136,452,166	<p>[学校別内訳]</p> <p>男山中学校 15学級 335人 18,639,876円 男山第二中学校 14学級 391人 15,483,797円 男山第三中学校 17学級 465人 19,781,251円 男山東中学校 14学級 428人 18,894,230円 共通経費 89,331,993円 計 60学級 1,619人 (学級数・生徒数は令和5年5月1日現在の数値)</p> <p>[主な経費内訳]</p> <p>生徒・教職員健康診断等委託 2,961,916円 受診者 生徒 延 3,993人、教職員 延 1,567人 八幡長町地区等学齢生徒教育事務委託 京都市に委託 24人 1,259,616円 施設設備等維持管理 学校警備委託、営繕委託等 12,369,156円 施設等修繕、補修材料購入 3,513,684円</p>
---------	------------------	-------------	--------------------------------------	-----------	----------------------------------------	-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

						施設設備等環境整備 男山東中学校防球ネット改修 12,752,300円 学校給食配膳員検便委託 73,200円 給食配送業務委託 10,989,000円 スクールセット更新 1,464,540円 学校図書館システム更新及び運用 1,473,250円 パソコンリース 242台 7,133,934円 管理備品購入 学校図書館システム用パソコン(全校) 2,285,543円 体育館スピーカー更新(男山二中) 406,450円 学校給食費物価高騰対策助成 10,947,040円
2 教育振興費	中学校校 教育振興	100,769,349	(国) 1,105,091	(繰入金) 1,724,799	97,939,459	[学校別内訳] 男山中学校 16,641,905円 男山第二中学校 18,428,930円 男山第三中学校 17,838,331円 男山東中学校 11,399,438円 共通経費 36,460,745円 [主な経費内訳] 各中学校 要保護及び準要保護生徒就学援助 454人 特別支援教育就学奨励 17人 教材等設備整備 教材備品購入 5品目 12数 学校図書館図書購入 1,899冊 マイカークラブ文庫図書購入 842冊 ふるさと応援寄附金による図書購入 227冊 社会人による学習支援 525回 共通経費 就学援助新入学学用品費 9,009,000円 入学前支給 143人 パソコンリース 164台 7,115,268円 理科教育等設備整備 945,500円 教材備品購入 13品目 18数 eスクール構想 2,640,840円 教材購入 C R T 1,616人分他 中学校吹奏楽研究会助成 1,100,000円 中学校体育連盟事業助成 620,000円 部活動施設利用助成 918,840円 部活動備品整備 15品目 32数 1,376,650円 自学自習システム借上 844,800円 英語教育の推進 9,039,250円 講師派遣延 506回 3,287時間 楽しい学校づくり支援 796,325円 よりよい学校生活と友達づくりのアンケート ト「h y p e r-Q U」実施 対象 全中学生 1,612人

目	主要な施策	決算額	財源内訳			施策の内容	
			特定財源				一般財源
			国府支出金	地方債	その他		
3 学校建設費	男山第二中学校整備 (4年度繰越)	円 213,063,400	円 (国) 49,874,000	円 123,700,000	円 (繰越金) 39,489,400	円 男山第二中学校屋内運動場長寿命化改良 210,971,200円 男山第二中学校屋内運動場長寿命化改良工事監 理業務委託 1,228,700円	

(款) 10 教育費

(項) 4 幼稚園費

1 幼稚園管理費	幼稚園管理運営	175,758,440	(国) 814,000 (府) 1,060,400	(負担金) 21,060 (繰入金) 154,704 (諸収入) 1,166,450	172,541,826	<p>[園別内訳]</p> <p>八幡幼稚園 園児数 26人 3クラス 34,151,038円</p> <p>八幡第三幼稚園 園児数 46人 3クラス 30,782,260円</p> <p>八幡第四幼稚園 園児数 15人 1クラス 21,865,029円</p> <p>橋本幼稚園 園児数 21人 3クラス 32,967,251円</p> <p>共通経費 計 108人 10クラス 49,912,962円</p> <p>(園児数・クラス数は令和5年5月1日現在の数値)</p> <p>[主な経費内訳]</p> <p>特色ある園づくり(園開放行事) 110,044円</p> <p>施設設備等維持管理 消防設備保守、施設営繕・改修設計委託 1,783,581円</p> <p>施設設備等修繕 234,531円</p> <p>園児情報システム運用 382,800円</p> <p>教材・管理備品購入 教材・遊具備品 35,000円 幼稚園管理備品 86,020円</p> <p>回転式両面黒板(八幡第四)等 預かり保育事業 3,615,965円 保育時間終了後～午後4時30分まで 月預かり 延 228人 一時預かり 延 1,353人</p> <p>幼稚園環境整備 保育室・遊戯室床改修、壁面塗装、園名看板 設置等(八幡第三) 5,619,900円 シューズボックス更新(八幡第三) 460,000円</p>
----------	---------	-------------	------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

私立幼稚園助成	618,060	(国) 128,000 (府) 128,000			362,060	私立幼稚園健康診断助成 89人 234,000円 なるみ幼稚園 満3歳児 3人 660円 3歳児 18人 48,420円 4歳児 30人 82,700円 5歳児 38人 102,220円 私立幼稚園副食費補足給付 14人 384,060円 3歳児 3人 75,600円 4歳児 6人 151,200円 5歳児 5人 157,260円
私立幼稚園運営	2,451,848	(国) 904,129 (府) 763,163			784,556	広域施設 くずはローズ幼稚園(枚方市) 延 48人
施設等利用給付	37,221,418	(国) 18,416,241 (府) 8,957,321			9,847,856	国立・私立幼稚園利用給付 34,224,907円 預かり保育事業利用給付(公立) 751,800円 預かり保育事業利用給付(私立) 1,392,075円
京の木香る園づくり	1,096,040	(府) 1,096,040				府内産木材を使用した園備品等整備 公立幼稚園全園 スタッキングチェア等購入

(款) 10 教 育 費

(項) 5 社会教育費

1 社会教育総務費	人権教育推進	887,159	(府) 97,000			790,159	人権教育推進協議会活動助成 692,394円 人権教育学習講座 開催 2回 約80人 人権啓発ポスター展 会 場 八幡人権・交流センター 出展数 799点 入場者 約80人 ポスターコンクール表彰 入賞者 15人
	集会所管理運営・学習活動	33,749,391	(府) 363,000			33,386,391	学習支援事業(南ヶ丘教育集会所) 学習支援利用者 小学生 延 2,434人 中学生 延 1,416人 合計延人数 延 3,850人 リーダーバンク出務者 延 235人 パソコンリース 5台 130,440円
	社会教育一般総務	96,481,116				96,481,116	社会教育委員 10人

目	主要な施策	決算額	財源内訳			施策の内容	
			特定財源				一般財源
			国府支出金	地方債	その他		
1 社会教育 総務費 (つづき)	青少年・女性 活動	円 5,545,301	円	円	円 (諸収入) 6,820	円 5,538,481	青少年・女性活動推進 2,470,288円 子ども会活動助成 784,000円 18子ども会 子ども会会員 2,046人 青少年育成補導委員会活動助成 1,035,000円 スポーツ大会等 子どもまつり事業助成 54,000円 3 P T A P T A連絡協議会活動助成 38,288円 女性会活動助成 450,000円 健康増進、学習会、ボランティア活動等 少年少女合唱団事業 1,101,862円 団員9人(小学生9人) 週1回(土曜日)活動 56日 家庭教育推進事業 11,010円 ふれあい体験学習 開催 7回 参加者 延 8人 子育て講座 開催 1回 参加者 18人 青少年活動事業 147,470円 ふれあい交流事業 開催 4回 参加者 延 99人(うち障がい者19人) 青少年の主張大会開催 278,520円 参加者 約130人 内容 小学生、中学生、高校生、支援学校生 計14人発表 二十歳のつどい開催 1,536,151円 参加者 499人(新成人対象者 688人) 参加率 72.5%

地域学校協働 活動推進	2,508,594	(府) 794,000			1,714,594	中学校校区学校支援地域本部活動助成 男山中学校校区 521,691円 登下校安全指導、絆フェスタ開催 男山第二中学校校区 614,732円 環境整備、登下校安全指導、学習支援 男山第三中学校校区 844,830円 環境整備、学習支援 男山東中学校校区 499,028円 学習支援、安全支援、環境整備
地域連携教育 活動推進	4,148,124			(繰入金) 4,148,124		地域連携教育活動助成 地域連携事業、特色ある教育活動、体験学習、 特別支援学習、環境整備等 小・中学校地域支援団体 12団体
やわた放課後 学習クラブ 運営	8,256,777	(府) 3,138,000		(諸収入) 93,600	5,025,177	放課後学習クラブ運営(京のまなび教室推進事業) 放課後児童の学習支援 実施校 市内全小学校 対象 小学校5、6年生 実施回数 週2回 水曜日 放課後～2時間 土曜日 9時30分～11時30分 参加者 延 5,631人 学習アドバイザー出務者 延 1,384人
地域による 寺子屋 (家庭学習応援)	750,895	(府) 415,000			335,895	地域のボランティアによる放課後の学習支援を 試行的に実施 実施校 さくら小学校、中央小学校 対象 小学校1～3年生 回数 週2回 参加者 延 1,238人 学習支援コーディネーター、ボランティア出務者 延 288人

2 文化財保護 対策費	一般保護	10,363,502			(諸収入) 10,700	10,352,802	埋蔵文化財包蔵地における発掘、立会調査等80件 八幡市文化財保護事業補助金 国宝重要文化財等保存・活用事業費助成 220,000円 史跡石清水八幡宮境内総合活用整備 石清水八幡宮摂社狩尾社本殿保存修理 国指定文化財維持管理費助成 692,000円 防災設備保守点検等 石清水八幡宮、正法寺、伊佐家 府指定・登録文化財等維持管理費助成 454,000円 防災設備保守点検等 正法寺、善法律寺、御園神社、内神社、西遊寺 府指定登録文化財等助成 1,128,000円 正法寺文化財環境保全地区災害復旧 相槌神社本殿解体修理 防災資機材整備 善法律寺 市指定文化財助成 945,000円 防災設備保守点検等 念佛寺、善法律寺 郷土史会活動助成 200,000円 ずいきみこし保存会活動助成 90,000円 市管理地保全 2,900,175円 八角堂、後村上天皇行宮趾、志水瓦窯跡 八角堂一般公開 令和5年11月18日～19日 来場者 延 348人 八角堂内見学 1回 7人
	美術工芸品 調査	1,559,958				1,559,958	市内旧家社寺等保有美術工芸品調査 古文書・彫刻・絵画・工芸品等

目	主要な施策	決算額	財源内訳			一般財源	施策の内容
			特定財源				
			国府支出金	地方債	その他		
2 文化財保護 対策費 (つづき)	市内遺跡調査	円 19,003,725	円 (国) 9,500,000 (府) 4,750,000	円	円	円 4,753,725	石清水八幡宮遺跡範囲確認調査業務委託 4,485,800円 史跡石清水八幡宮境内範囲確認調査業務委託 2,872,100円 史跡石清水八幡宮境内樹木伐採業務委託 2,629,000円 西車塚古墳範囲確認調査業務委託 1,233,100円 橋本陣屋跡試掘確認調査業務委託 4,726,700円 八幡市埋蔵文化財発掘調査報告(第73集)刊行 217,800円
	ふるさと 学習館 管理運営	4,395,966			(諸収入) 11,400	4,384,566	管理運営 令和5年度来館者数 延 575人 社会科見学 市内小学生 439人 文化財講座 2講座 延 33人 体験学習 2講座 延 38人 勾玉づくり、古銭づくり
	名勝松花堂 及び書院庭園 保存活用	68,173,647	(国) 46,699,000	20,700,000		774,647	災害復旧工事実施設計及び工事監理業務委託 7,955,200円 名勝松花堂及び書院庭園災害復旧工事 49,995,000円 書院：壁の解体、コンクリート基礎改修、 耐震リング取付、竹小舞下地取付等 蔵：木部・化粧裏板の腐朽・破損部分の取替等 素屋根等仮施設資材賃貸借(書院) 4,950,000円 雨水排水整備実施設計業務委託 2,868,800円 上下水道整備実施設計業務委託 1,192,400円 表門支障木伐採 987,800円
	史跡買上げ	2,843,000	(国) 2,274,000	500,000		69,000	八幡西車塚古墳買上げ事業に係る測量及び登記 業務委託 2,347,400円 八幡西車塚古墳買上げ事業に係る不動産鑑定 495,000円

目	主要な施策	決算額	財源内訳			一般財源	施策の内容
			特定財源				
			国府支出金	地方債	その他		
4 図書館費	図書館運営	円 139,809,073	円	円	円 (手数料) 70,190 (諸収入) 180,000	円 139,558,883	図書館協議会委員 8人 図書館管理運営 八幡市民図書館 開館日数 284日 男山市民図書館 開館日数 283日 自動車文庫(市内26カ所巡回) 運行日数 99日 臨時巡回 13日 蔵書冊数 243,702冊(うち児童図書 62,064冊) 個人貸出図書 八幡市民図書館 成人図書 155,883冊 児童図書 54,617冊 雑誌 9,896冊 男山市民図書館 成人図書 184,265冊 児童図書 60,330冊 雑誌 11,320冊 自動車文庫 成人図書 9,637冊 児童図書 8,178冊 雑誌 660冊 個人貸出視聴覚資料 レコード 10枚 カセット 48巻 CD 3,688点 ビデオ 19巻 市民1人当たり 7.23冊 利用者1人当たり 57.0冊 利用者 8,747人

団体貸出

八幡市民図書館 223件 3,356冊
男山市民図書館 72件 727冊
自動車文庫 98件 1,599冊

障がい者サービス

貸出 451タイトル 451冊 延 451人

リクエスト予約冊数

八幡市民図書館 29,964冊
男山市民図書館 39,538冊
自動車文庫 4,789冊

コピーサービス

八幡市民図書館 4,596枚
男山市民図書館 2,423枚

調査相談

八幡市民図書館 来館 277件 電話 1件
男山市民図書館 来館 377件

図書等購入

成人図書 9,053冊 14,352,353円
児童図書 3,343冊 5,175,681円
大活字図書 49冊 169,840円

図書館システム運用経費 12,731,840円

移動図書館車運行及び資料集配業務派遣

2,218,191円

AED購入 1台 330,000円

部活動地域移行の情報をお知らせいたします

ク リ エ イ ト

CREATE

第1号 2024年10月11日(金)
発行 八幡市教育委員会
(連絡先: 075-983-1126)

今年の目標
八幡市版地域クラブをつくろう

部活動の「地域移行」とは

中学校の部活動を、学校の教育活動から、地域のスポーツ・文化団体等が行う活動に移行していくための環境と整備を進めるものです。国の方針としては、令和5年度から3年間を「休日の部活動の地域移行に向けた改革推進期間」としています。八幡市では、少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保を目指し、八幡市版地域クラブ活動の構築を進めています。

中学校の休日部活動を
地域移行「モデル事業」へ



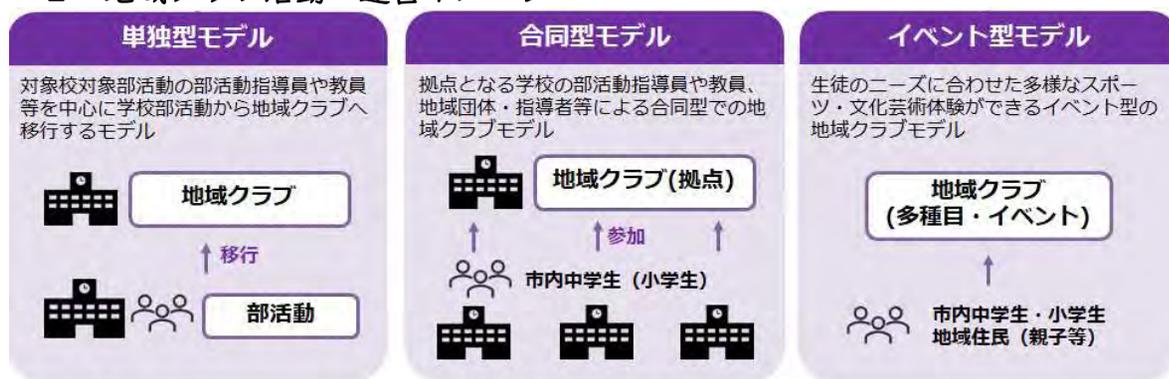
まずは、休日の部活動の移行を目指し、今秋からモデル事業を行います。

1 学校部活動 → 地域クラブ活動

■ 学校部活動	
位置付け	学校教育の一環（教育課程外）
活動日	平日：月火木金（基本的に、水曜日は部活休み） 休日：土日どちらか
活動場所	原則、学校の施設
指導員	主に教職員
活動時間	平日：2時間程度 休日：3時間程度

現在	平日	休日
	■ 学校部活動	■ 地域クラブ活動
	位置付け 学校教育の一環（教育課程外）	学校と連携して行う地域クラブ活動（社会教育）
	活動日 平日：月火木金（基本的に、水曜日は部活休み）	休日：土日どちらか
	活動場所 原則、学校の施設	原則、学校の施設（調整状況に応じて公的施設も活用）
	指導員 主に教職員	外部指導者、兼職兼業教員、地域スポーツ指導者（市内・外含む）
	活動時間 平日：2時間程度	休日：3時間程度
今後		

2 地域クラブ活動 運営イメージ



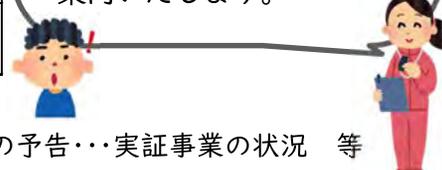
※ 地域クラブ活動は、すべて任意参加とします。モデル実証以外の部の、休日の活動は、引続き、部活動として活動します。



3 地域クラブ活動 令和6年度モデル実証

対象校	男山中学校	男山第二中学校	男山第三中学校	男山東中学校
実施種目	ソフトテニス 男子	ハンドボール 男女	卓球 男子	バスケットボール 女子
参加対象	対象校部活動生徒	対象校部活動生徒	対象校部活動生徒	市内中学校女子バスケットボール部員とミニバスチームに所属する市内在住小学6年生女子児童
指導者属性	地域スポーツ指導者 兼職兼業教職員	地域スポーツ指導者 兼職兼業教職員	地域スポーツ指導者 兼職兼業教職員	地域団体 兼職兼業教職員
モデルイメージ	単独型モデル	拠点校を見据えた 単独型モデル	単独型モデル	イベント型モデル ※ 定員上限あり

※ 詳細は、各部に所属する部員の保護者へ案内し、参加申込み後の参加となります。なお、イベント型バスケットボールにつきましては、市内在住小学6年生女子児童へ案内いたします。



※ 活動のない週は、部活動を行うことがあります。

次回(第2号)の予告...実証事業の状況 等

第八回徒然草エッセイ大賞応募状況について

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,285	550	677	58	16	1,269
2	中学生の部	721	687	31	3	301	420
3	小学生の部	440	438	2	0	436	4
合計件数		2,446	1,675	710	61	753	1,693

テーマ 「はじまり」
 募集期間 令和6年6月3日(月)から9月20日(金)
 今後の予定 一次選考 令和6年10月上旬から11月中旬
 二次選考 令和6年11月下旬から12月中旬
 最終選考 令和6年12月下旬から1月下旬
 作品決定 令和7年2月上旬
 授賞式 令和7年3月15日(土) 石清水八幡宮 清峯殿

(参考)

第一回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: 出会い

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,911	913	875	123	66	1,845
2	中学生の部	358	347	11	0	287	71
3	小学生の部	312	309	2	1	294	18
合計件数		2,581	1,569	888	124	647	1,934

第二回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: 旅立ち

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,048	523	465	60	24	1,024
2	中学生の部	362	359	3	0	359	3
3	小学生の部	626	623	3	0	619	7
合計件数		2,036	1,505	471	60	1,002	1,034

第三回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: 発見

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,612	763	789	60	27	1,585
2	中学生の部	390	385	5	0	266	124
3	小学生の部	774	769	5	0	767	7
合計件数		2,776	1,917	799	60	1,060	1,716

第四回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: 変化

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,986	795	1,101	90	29	1,957
2	中学生の部	813	808	5	0	453	360
3	小学生の部	765	762	3	0	760	5
合計件数		3,564	2,365	1,109	90	1,242	2,322

第五回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: つながり

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,795	690	1,034	71	13	1,782
2	中学生の部	342	325	15	2	226	116
3	小学生の部	596	594	2	0	590	6
合計件数		2,733	1,609	1,051	73	829	1,904

第六回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: 願い

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,526	492	945	89	37	1,489
2	中学生の部	665	621	40	4	399	266
3	小学生の部	507	505	1	1	503	4
合計件数		2,698	1,618	986	94	939	1,759

第七回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ: ときめき

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,161	411	701	49	25	1,136
2	中学生の部	744	581	161	2	348	396
3	小学生の部	499	497	2	0	494	5
合計件数		2,404	1,489	864	51	867	1,537